

ROBUNDO

26
September
2017



TYPOGRAPHY
SCHOOL

Shinjuku

Shinjuku
31

新宿私塾
第31期
カリキュラム



13

March

2018

第1回		9月26日(火)
6:30-7:05	片塩	* 始業挨拶 塾生自己紹介
	鈴木	* カリキュラム説明
7:15-9:40	片塩	* 講義 タイポグラフィを学ぶこととは ・タイポグラフィ概論とその役割 * 講義 ・形而下の文と形而上の字 文字の誕生 ・コミュニティとコミュニケーション
第2回		10月3日(火)
6:30-8:00	杉下	* 講義 スペーシング基礎 ・レタースペースの現理とその効用 濃度・距離・軸ほか
8:10-9:40		* 演習 「 」「mimi」「minamimon」 スペーシング (持参物:カッターナイフ、カッターマット、 30cm定規、三角定規、ピンセット) →持ち帰り課題1「minamimon」
第3回		10月10日(火)
6:30-8:00	木村	* 講義 ローマン体の成立 ・トラヤヌス帝の碑文からジェンソン 碑文の拓本、そしてスワインハイム、 ダ・スピラ、ジェンソンの活字を見る
8:10-9:40	杉下	→課題1「minamimon」提出→ * 講評 「minamimon」スペーシング * 講義 スペーシング補習 (大文字・イタリックおよび和文の スペーシング基礎)
第4回		10月17日(火)
6:30-8:00	河野	* 講義 欧文書体を学ぶ ・欧文書体の分類と構造そして部分名称
8:10-9:40		・欧文書体の歴史 ゲーテンベルクのブラックレターから 近代サンセリフまでの歴史を俯瞰する (副読本『欧文書体百花事典』)
第5回		10月24日(火)
6:30-8:00	鈴木	* 講義 活字組版指定基礎 (持参物:写植スケール、計算機) ・活字サイズ、字間、行間、段間 ・組体裁(縦・横、左右、頭、中心揃え) ・禁則/約物/段落字下げ/ブラ下がり組 追い出し/追い込み/行頭括弧の扱い ・和・欧混植の実際、ベースライン設定
8:10-9:40		* 演習 組版指定の実際 →課題「組版指定」

第6回		10月28日(土)
1:00-4:00	片塩	* フィールドワーク 理想社
	鈴木	* 公版印刷所の実際 * 特別講義 田中宏明社長 書籍印刷概論 ・公版印刷の使命
第7回		10月31日(火)
6:30-8:00	片塩	* 講義 日本の活字版印刷概略史 ・本木昌造、平野富二、福地桜痴、 東京築地活版製造所、秀英舎など
8:10-9:40	永野	* 講義 名刺デザイン制作 ・名刺における表記法、定型名刺 ・名刺における基本構成 * 演習 隣の名刺デザイン(公私2種) →課題2 希望・要望をリサーチ →持ち帰り課題2「設計意図、名刺ラフ デザイン」(次回気になる名刺を持参)
第8回		11月7日(火)
6:30-8:00	河野	* 講義 欧文組版の基礎 ・行、段落の組み方。行間と行長、段落の 意味と種類。見出しの種類、可読性
8:10-9:40		・本文組版とページについて テクスチュア、判型、版面、表紙・扉
第9回		11月14日(火)
6:30-8:00	永野	→持ち帰り課題2「設計意図、名刺ラフ デザイン」提出→チェック→制作へ * 講義 名刺の利点と問題点 ・持参した名刺を見る
8:10-9:40		* 講義 名刺デザインの制作実務 ・組版の実務 ・トンボとガイドライン (使用書体の提供「要返却」) →持ち帰り課題3「名刺デザイン」
第10回		11月21日(火)
6:30-8:00	櫻井	* 講義 サンセリフの発展 ～時代の文化、社会情勢との呼応を 概観する～ ・グロテスク、ジオメトリック、 ヒューマニスト、リアリスト
8:10-9:40		・誕生の地を知る事、見る事、触れる事 ・オプティカルスケーリングと リニアスケーリング ・その後のサンセリフの成熟と進化

第11回		11月28日(㊄)
6:30-8:00	原	<ul style="list-style-type: none"> * 講義 美術展図録制作・ケーススタディ ・エディトリアルデザイン、グラフィックデザインの基本 ・内容やターゲット層から考える組版 ・主従関係、優先順位を明らかにする ・読みやすい組版についてなど
8:10-9:40	永野	<ul style="list-style-type: none"> →持ち帰り課題3「名刺デザイン」提出→ * 講評「名刺デザイン」

第12回		12月5日(㊄)
6:30-8:00	杉下	<ul style="list-style-type: none"> * 演習 本文組版課題の説明 →課題4「本文組版」(4テーマから選択) →持ち帰り課題4「本文組版ラフデザイン」(書体データ、テキストデータの提供)
8:10-9:40		<ul style="list-style-type: none"> * 講義 書体と紙面設計・ケーススタディ ・図版主体の紙面設計と テキスト主体の紙面設計

第13回		12月12日(㊄)
6:30-8:00	片塩	<ul style="list-style-type: none"> * 講義 書物の組版を見る ・萩原朔太郎、恩地孝四郎、堀辰雄、立原道造、4人のタイポグラフィから学ぶこと
8:10-9:40	杉下	<ul style="list-style-type: none"> →持ち帰り課題4「本文組版ラフデザイン」提出→チェック→制作へ →持ち帰り課題5「本文組版デザイン」

第14回		12月19日(㊄)
6:30-8:00	有馬	<ul style="list-style-type: none"> * 講義 複数メディアへの定着と実践 ・ここ数年で劇的に変化している紙媒体、ウェブ、モバイルについて ・紙面だけではなくスクリーンメディアをめぐるタイポグラフィの現況
8:10-9:40		<ul style="list-style-type: none"> ・いかに紙媒体とディスプレイの印象を最適化していくか

第15回		1月9日(㊄)
6:30-8:00	今田	<ul style="list-style-type: none"> * 講義 歴史に息づく活字書体のデザイン ・和字書体のデザイン ・漢字書体のデザイン
8:10-9:40	杉下	<ul style="list-style-type: none"> →持ち帰り課題5「本文組版」提出→ * 講評「本文組版」

第16回		1月16日(㊄)
6:30-8:00	春田	<ul style="list-style-type: none"> * 講義 明治期の和様活字書体を見る ・書と活字のはざま 池原香禪 ・香禪の書から見た活字、活字から見た書 ・本木昌造との交流の中で 幕末から明治に生きた池原香禪の生涯
8:10-9:40	深津	<ul style="list-style-type: none"> * 講義 UIデザインの現場から ・グランサビリティ(ぱっとみでわかること)や視認性系の話 ・AndroidのMaterial Designなど、スマホUIでのタイポグラフィの思想

第17回		1月23日(㊄)
6:30-8:00	板東	<ul style="list-style-type: none"> * 特別講座 板東孝明教授 * 講義 構造としての造形言語 ・タイポグラフィに持ち込まれた構造的視点。リートフェルトとミース そしてバックミンスター・フラー
8:10-9:40		<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会に根ざしたコミュニケーションデザインのあり方を考える

第18回		1月30日(㊄)
6:30-8:00	白井	<ul style="list-style-type: none"> * 特別講義 白井敬尚 * 講義 紙面の構造設計・ケーススタディ ・フォーマットとグリッドの概略史
8:10-9:40		<ul style="list-style-type: none"> ・サムネール、台割、ラフスケッチからグリッドの生成および活用方法

第19回		2月3日(㊄)
1:00-6:00	西尾	<ul style="list-style-type: none"> * 特別演習 * 演習 製本術入門 (持参物：カッターナイフ、カッターマット、30cm定規できれば金尺、2H-4H鉛筆) ・洋式製本の基礎を学ぶ。 糸かがり綴じの上製本の実務制作

第20回		2月6日(㊄)
6:30-8:00	木村	<ul style="list-style-type: none"> * 講義 サイン・デザインの現場から ・コーポレート・アイデンティティとブランディングの構築
8:10-9:40		<ul style="list-style-type: none"> ・企画、リサーチ、プレゼンテーションの方法論とその実制作法および作成

第21回	2月13日(火)
6:30-8:00	千星 * 講義 タイポグラフィとデバイス ・モダン・ローマン体の変遷にみる 各時代のデバイス ・エフェメラの観察とその実践
8:10-9:40	鈴木 * 講義 造本概略 ・紙のサイズと紙取り ・折丁について(背丁、落・乱丁) ・書物製作に必要な素材概略 ・製本の綴仕様(かがり、あじろ、無線)

第22回	2月20日(火)
6:30-8:00	上野 * 講義 写真撮影における基礎知識 ・自身で撮影する～撮影を依頼する
8:10-9:40	・画像処理、及び写真データの取扱い

第23回	2月27日(火)
6:30-8:00	水野 * 講義 フォントメーカーからみた 日本語デジタルタイプの現況
8:10-9:40	真田 * 講義 現代装幀の成り立ち—— 明治・大正時代の造本 ・古典に学び、実践で挑戦する ・寒風の中での顧客獲得

第24回	3月6日(火)
6:30-9:40	山本 * 特別講座 山本太郎 * 講義 アプリケーション生成の現場から ・組版ソフトと電子活字の有効利用 ・通信環境とタイポグラフィ ・ベースライン設定の基本現理 ・ポイントシステム概略

第25回	3月13日(火)
6:30-9:40	大石 * 演習 活版印刷の歴史と実践 ・文選、組版、組み付け、印刷 ・タイポグラフィの基本技術の再構築
	片塩 * 講評 汝、タイポグラフィの前衛たれ!

- ・出欠席は授業開始前に出欠席ノートに自分の氏名を記入すること。
- ・欠席、遅刻は事前に必ず申告すること。
- ・授業中の携帯電話、メールは不可。
- ・教室内での喫煙、飲食は不可。
- ・すべての課題の制作工程(途中段階も含む)は、個人用ファイルにまとめ、提出用は新宿私塾用ファイルに入れること。

- ・課題は成果物としてその都度講評が行なわれ採点は行なわれない。
- ・授業日程は変更の可能性がある。
- ・組版アプリケーションとしてイラストレータを使用して制作が行なわれるため、コンピュータ・スキルを習得しておく事が求められる。
- ・基本的に図書資料の持ち出しは不可。
- ・資料類のコピーは、必ず申告すること。

- ・演習以外のコピーは申告制。1枚10円。
- ・塾生以外で講義をスポットで聴講したい方は申し込み制で、1時限12,000円、1回2時限20,000円で、聴講できるが、塾生の席次を優先とする。
- ・出席できなかった講義は次期講義に出席可(ただし演習項目は不可)。従って本期に前期塾生が出席する可能性がある。
- ・入塾予定見学者が出席する可能性がある。

新宿私塾担当講師:

有馬智之(グラフィック・デザイナー)
今田欣一(欣喜堂 活字書体設計家)
上野隆文(フォトグラフィ)
大石 薫(朗文堂 サラマ・プレス倶楽部)
片塩二郎(朗文堂 塾長)
木村雅彦(グラフィック・デザイナー)

河野三男(東洋美術学校講師)
櫻井優樹(グラフィック・デザイナー)
真田幸治(グラフィック・デザイナー)
杉下城司(グラフィック・デザイナー)
鈴木 孝(朗文堂 タイポグラフィ)
千星健夫(グラフィック・デザイナー)

永野有紀(グラフィック・デザイナー)
原 純子(グラフィック・デザイナー)
春田ゆかり(グラフィック・デザイナー)
深津貴之(UIデザイナー)
水野 昭(株式会社イワタ 社長)

新宿私塾特別講師:

白井敬尚(グラフィック・デザイナー)
田中宏明(株式会社理想社 社長)
西尾 彩(ブック・バインダー)
板東孝明(武蔵野美術大学教授)
山本太郎(アドビシステムズ・ジャパン)

タイポグラフィ・スクール 新宿私塾

160-0022 東京都新宿区新宿 2-4-9 朗文堂 Telephone:03-3352-5070 Facsimile:03-3352-5160 E-mail:robundo@ops.dti.ne.jp http://www.ops.dti.ne.jp/~robundo/